

事業計画書

1. 事業名	ガザ市における紛争被害者への給水事業
2. セクター	WASH
3. 事業地	パレスチナ自治政府 ガザ地区
4. 対象者	給水を実施している避難所 5 か所の避難民約 15,000 人
5. 実施期間	約 12 日間
6. 予算額	3,000,000 円
7. 背景	2023 年 10 月から続くガザ地区の未曾有の人道危機により、8 月 20 日時点で少なくとも 62,122 人が死亡、156,758 人が負傷¹したほか、92% の家屋が破壊²され、大多数の人びとが避難生活を余儀なくされている。 2025 年 8 月 22 日には、国連の総合的食料安全保障レベル分類（IPC）の飢饉検討委員会は、ガザ市の飢饉（ききん）発生を宣言³するなど、食料をはじめ、人びとの生命維持に必要なあらゆる物資が不足している。 同時に安全な飲み水の不足も深刻化しており、人口の 96%が深刻な水不足⁴を訴えている。現在当団体が給水支援を行っている対象者や、避難所責任者や当団体现地スタッフからも、給水支援の継続を強く求められている。
8. 目的	ガザ市の避難所に滞在する紛争被害者の生命維持のために水を供給する
9. 期待される成果	ガザ市の避難所に滞在する紛争被害者が水を入手できる
10. 活動内容	ガザ市内の海水淡水化施設から、水質検査を受けた安全な飲み水を購入し、業務委託するガザ市内の給水業者がガザ市内の 5 か所の避難所それぞれに対し 1 日約 35,000 リットルの給水（1 人あたり 1 日約 2.3 リットルで避難民約 15,000 人分）を約 12 日間実施する。 各避難所の状況に応じて、給水業者のトラックから避難所に設置された大型タンクへ給水、もしくはトラックから各紛争被害者の持つポリ容器へ直接給水するなど適切な方法で実施する。

¹ OCHA, [Reported impact snapshot | Gaza Strip \(20 August 2025\)](#)

² 同上

³ [IPC, Famine Review Committee, Gaza Strip, August 2025](#)

⁴ OCHA, [Reported impact snapshot | Gaza Strip \(20 August 2025\)](#)